

# 通 告 質 問 一 覧 表

(平成27年12月定例市議会)

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	13	2番 石 田 芳 生	<p>1 介護保険制度改正への対応について</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業について、要支援利用者、家族、地域住民、介護保険事業所には十分な説明がなされているか</p> <p>(2) 平成29年4月以降、支援を必要とする高齢者が必要十分なサービスを公平に受けることができるのか</p> <p>(3) 地域住民のボランティアで介護予防の支援が実現可能か</p> <p>(4) 介護保険事業者の経営を圧迫し、介護従事者のリストラを招くのではないか</p> <p>2 就学前児童の保育、教育について</p> <p>(1) 認定こども園が運用されるようになって1年目であるが、どのような状況か。児童、保護者の満足度や職員の意見はどのように取り入れているのか</p> <p>(2) 成羽地域では鶴鳴保育園と成美保育園で入園者数に大きな差がある。各園は受け入れ可能な園児数内ではあるが、保育や教育面で十分な対応ができているのか</p> <p>3 学校統合について</p> <p>(1) 人口減少は学校統合に大きな影響を与えるが、これまで保護者や地域に対してどのような対応をしてきたのか</p> <p>(2) 教育委員会の教育方針として、小学校教育と中学校教育で大きく異なる点は何か</p> <p>(3) 義務教育は保護者の義務であり責任である。個々の保護者が学校選択をすることはできないのか。学校単位での意思決定に従うしかないのか</p> <p>(4) 学校の存在はまちづくりにも大きくかかわってくる。跡地活用や校舎利活用を含めた学校統合後のまちづくりについてどのように対応してきたのか。また、今後どのように取り組むのか</p> <p>4 市民提案について</p> <p>(1) 市の重要施策にもかかわる提案が市民からなされている。産業振興、特産品開発の面では薬草栽培に取り組む準備組合が立ち上げられている。本市では全くの新規事業で、性質上情報も少ないと聞いている。地方創生にも取り上げられていることであり、事業が軌道に乗るまでは市としても支援をしていくべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	13	2番 石 田 芳 生	<p>(2) 吹屋、中野、坂本地域の住民を中心としたグループで高梁市のロケーションを活用した手づくりのウェディングプランが提案されているが、支援をしていくべきではないか</p> <p>(3) 旧布寄小学校等を活用した事業提案がなされているが、遊休資産活用、産業振興や地元雇用対策につながるので、支援をしていくべきではないか</p>
2	1	18番 妹 尾 直 言	<p>1 新図書館の問題について</p> <p>(1) CCC（ツタヤ）をめぐる昨今の問題について、どのように考えているのか</p> <p>(2) 高梁市の中央図書館は備中高梁駅前のにぎわいの施設であっていいのか</p> <p>(3) CCC（ツタヤ）との基本合意と本契約（指定管理）はどのような違いがあるのか</p> <p>(4) 指定管理委託料の財源はどのようになるのか</p>
3	10	7番 大 森 一 生	<p>1 高梁市の急激な人口減少、超高齢化社会を迎え縮小する社会に対応したまちづくりとそれに向けた社会資本整備について</p> <p>(1) 急激な人口減少、超高齢化社会を迎えインフラ整備の見直し、ダウンサイジングは避けて通れない。これからのまちづくり、社会資本整備について聞く</p> <p>(2) 平成20年と平成24年に作成した財務諸表の積極的活用と民間活力を生かした社会資本整備の取り組みについて</p> <p>① 本市におけるPPP/PFIの導入、推進を図るためには公会計の早期の導入と固定資産台帳の整備が重要だと思うが、どのような状況なのか</p> <p>② 公共施設のライフサイクルコストを踏まえた施設建設、維持管理及び事業別のフルコスト情報、PDCAサイクル確立とその行政評価システムの構築と積極的活用について</p> <p>2 高梁市の公共施設における建設、運営、管理の考え方と新図書館を核にした駅前複合施設の意義及びその持続可能性、健全性について</p> <p>(1) これまでの高梁市の公共施設の運営、管理の考え方について、特に旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」、高梁国際ホテル、吉備国際大学の施設の建設、運営、管理の経緯、経過、またそのかわり方について聞く</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	10	7 番 大 森 一 生	<p>(2) これまでの指定管理者制度の問題点と改善点について聞く</p> <p>(3) まち・ひと・しごと創生法の目的、基本理念をどのように捉えて備中高梁駅周辺整備を行っているのか</p> <p>(4) 新図書館を核にした駅前複合施設の存在意義とその指定管理の考え方とその施設の持続可能性と健全性について</p>
4	5	9 番 宮 田 好 夫	<p>1 新図書館について</p> <p>(1) 各地で起きているCCCの問題について、11月24日の全員協議会で本市ではそのような問題は発生しないと説明があった。その根拠について問う</p> <p>2 介護保険サービスについて</p> <p>(1) 介護保険制度が改正され、介護保険サービスが変わろうとしている。国から市へ移管されるものやサービスの対象から外れるものもあるが、準備や対応は進んでいるのか</p> <p>3 学童保育について</p> <p>(1) 制度改正により学童保育が充実されたが、各学童保育の対応は十分できているのか</p> <p>(2) 支援が必要な児童が通っている学童保育には、特別な対応が必要ではないか</p> <p>4 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略について</p> <p>(1) 前提となる人口ビジョンの目標は厳しいのではないのか。どのようにして社会減を克服しようとしているのか</p> <p>(2) 総合戦略には現在行っている施策が多く上げられている。改めて戦略に上げることのメリットは何か</p> <p>(3) 事業費は国が半分、地方が半分となっている。財政基盤の弱い自治体にとっては、新たな借金がふえることにならないか</p> <p>(4) この戦略には結果が求められている。計画の途中であっても評価を行い、効果の少ないものは中止するなどの発想も必要ではないか</p>
5	7	5 番 三 村 靖 行	<p>1 少子化対策について</p> <p>(1) 人口減少、少子化が大幅に進んでいる中、市は定住対策課を設置して対応しているが、少しの成果しか見えてこない。この際、打開策として大規模団地（農地を含む）を建設することはできないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	7	5 番 三 村 靖 行	<p>2 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略について</p> <p>(1) 新総合計画との関連について</p> <p>(2) 将来の財政的裏づけがあるのか</p> <p>(3) リーディングプロジェクト設定の考え方はどういったものか</p> <p>(4) 主な施策について</p> <p>① 半官半Xは具体的に何をイメージしているのか</p> <p>② 出生数の目標値について</p> <p>③ 大学との連携について</p> <p>3 検診受診行動アンケートについて</p> <p>(1) 検診受診行動アンケートを行っているが、それをどのように活用しているのか</p>
6	1 2	1 番 石 井 聡 美	<p>1 図書館の運営について</p> <p>(1) 備中高梁駅が混み合うのは朝夕の通勤時間帯だと思うが、現在の開館時間では朝をカバーできていない。開館時間を見直すべきではないか</p> <p>(2) 新図書館の運営をCCCと協議するための運営委員会を組織し、運営の透明化を図るべきではないか</p> <p>(3) 成果目標を設定するような契約のほうが運営へのモチベーションが上がるのではないか</p> <p>(4) 撤退ラインは設定されているのか</p> <p>(5) 市民が自由に発言できる選書カフェのようなものを企画して、選書に市民の意見を反映させてはどうか</p> <p>(6) 図書館の情報を発信していくための基盤組織として、友の会のようなものをつくるべきではないか</p> <p>(7) CCCはプライバシーマークを返上し、自社の独自基準に従った個人情報保護を行うとしている。個人情報の保護と利便性の向上はバーターになっている部分もあるため、高梁市でも独自の基準について議論し、公開していく必要があるのではないか</p> <p>2 市営住宅について</p> <p>(1) 市営住宅をリフォーム可能にし、居住者が自己負担で住みやすく改装することを認めてはどうか</p> <p>(2) 出生率 2.81 の岡山県奈義町は、取得した雇用促進住宅 60 戸をリフォームして、若い世代に貸し出している。現在は 46 戸が既に埋まっている。高梁市でも同様の方策を試みてはどうか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	12	1 番 石 井 聡 美	<p>3 定住対策について</p> <p>(1) 人口減少による行政コストの個人負担額増大を抑えるために、小さな拠点となるエリアでの住宅取得や新築に補助金を上乗せする形でさらにインセンティブをつけてはどうか</p> <p>4 企業誘致について</p> <p>(1) 年に3事業者程度を募集し、家賃の補助、税金の免除、開発費への投資を行うことで、SOHOでの起業を促してはどうか</p> <p>5 観光振興について</p> <p>(1) 備中松山城の雲海展望台にライブカメラを設置して、インターネットを通じて配信したり、備中高梁駅東西連絡道のサイネージなどから現在の状況を確認できるようにしてはどうか</p> <p>(2) 来年の観光シーズンには、さらなる駐車場不足が懸念されるが、対策を問う</p>
7	9	8 番 内 田 大 治	<p>1 災害時の情報伝達手段について</p> <p>(1) 本市では緊急時の情報伝達については、複数の手段を活用している。本年度から防災ラジオの活用に取り組んでいるが、現在の取り組みと成果について問う</p> <p>(2) 9月に発生した市内の建物火災において周辺住民に対して情報伝達が不備であったと聞く。市としての検証と対策について問う</p> <p>2 消火栓用設備について</p> <p>(1) 消火栓用設備設置補助金の交付状況について問う</p> <p>(2) 消火栓設備の新設、更新については、全額市負担とすべきではないか</p> <p>3 駅周辺整備について</p> <p>(1) 駅周辺の名称、呼称を統一すべきではないか</p> <p>(2) 順路標識、案内板が不足している。見やすい、わかりやすい標識を設置すべきではないか</p> <p>(3) 駅周辺（西広場、東広場）の整備については機能面での整備が進んでいるが、憩いの場、高梁の歴史、文化が感じられるようなオブジェ等を設置してはどうか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	4	4 番 黒 川 康 司	<p>1 高梁市地域振興基金によるまちづくりについて</p> <p>(1) まちづくり事業の住民自治活動推進事業枠は合併前から各地域が実施していた事業を継続して実施できるよう設けられたものであり、今後 20 年間継続して配分をしていく方針が高梁市まちづくり協議会連絡会で出されている。過疎化、高齢化、少子化が進んでいく状況の中で、各地域のまちづくり協議会が決定していくことだとは思いますが、市としてのまちづくりに対しての見解を問う</p> <p>2 地域公共交通について</p> <p>(1) 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略の中で路線バス、生活福祉バス、乗合タクシーについて、その利用状況を注視するとともに、利用者や運行事業者の意見を参考にしながら、より利用しやすい交通手段を講じるとしていますが、スクールバスについては、どう考えているのか問う</p> <p>(2) 川上地域、備中地域の乗合タクシーは同じ地域を週 2 日運行し、両地域ともそれぞれ年間 5,000 人弱の利用者があり、成功した事例だと思う。その理由として、ドアツードア方式であることと乗降ステップが低床で高齢者の方が乗りやすい点があると思う。この方式を他の地域へ拡充していく計画はあるのか問う</p> <p>3 成羽病院の運営について</p> <p>(1) 昨年度の決算において、累積赤字が 3 億 9,000 万円であるが、その原因及び今後の経営をどのように改善していくのか問う</p> <p>(2) 看護師の確保については、現在、解消されていると伺っているが、医師の確保については、どのような現状か問う。また、県人事の自治医科大学の医師について、来年度どのような計画になっているのか問う</p> <p>(3) 現在の病床利用率はどれくらいなのか問う</p> <p>4 旧成羽高等学校跡地の認定こども園、養護老人ホームの計画について</p> <p>(1) 旧成羽高等学校跡地の計画について、全員協議会で説明があったが、現在ある保育園 2 施設及び養護老人ホーム 2 施設の跡地活用については、どういう方針であるのか問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	2	6 番 森 田 伸 一	<p>1 農地中間管理機構について</p> <p>(1) 昨年の 12 月議会において質問し答弁をいただいているが、1 年経過し高梁市として人・農地プランを活用した農地の集積実態について問う</p> <p>(2) 岡山県農地中間管理機構においては、業務の効率化、迅速化に向けて、県下 3 市へ駐在員を配置し推進に努めているが、高梁市としてはどのような施策を考えているのか</p> <p>(3) 耕作環境の厳しい中山間地である高梁市にとって、国が進めようとしている農地中間管理機構を活用しての農業再生は可能なのか。独自の高梁市方式農業再生策は考えられないのか</p> <p>2 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 有害鳥獣対策として、猟友会の協力を得て昨年立ち上げた鳥獣被害対策実施隊の現状について問う</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊の活動については、猟友会を中心とした組織のみでは事業推進が困難と聞く。実施隊員として、事務的にまた緊急時に出勤が比較的柔軟に行える J A 職員及び市職員も活動してはどうかと提案し、前向きに検討すると回答をいただいたと認識しているが、現在どうなっているのか問う</p> <p>(3) 11 月 15 日から 3 月 15 日までの猟期に捕獲したイノシシについては、食用として供することはできないと聞いている。過去の一般質問で獣肉も含めた地域特産品として加工してはどうかといった提案を行っているが、現在どのように検討が進んでいるのか問う</p> <p>3 農業への保護政策について</p> <p>(1) 環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定の大筋合意を受け、農畜産業に対する影響緩和策として国はさまざまな支援策を講じているが、規模の小さい、また耕作環境の厳しい高梁市の農畜産業にとって、影響は甚大と考える。高梁市独自の対策をとるべきと思うが、考えを問う</p>
10	6	10 番 小 林 重 樹	<p>1 地方創生と高梁市まち・ひと・しごと総合戦略について</p> <p>(1) 5 つの基本目標が掲げられているが、本市が取り組むべき一番の目標は何か</p> <p>(2) 5 つの基本目標それぞれの目標値を達成するための主な施策のうち、重点的に取り組む施策は何か</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	6	10番 小林重樹	<p>(3) 基本目標達成のため、多くの事業が掲げられている。担当する課はそれぞれ違うが、垣根を越えたプロジェクトチームをつくる必要があるのではないか</p> <p>(4) 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略と高梁市新総合計画後期基本計画との関連性について</p>
11	14	3番 石部 誠	<p>1 歴史まちづくり重点区域空き家住宅等除却事業について</p> <p>(1) 高梁市景観条例に基づき空きビルの撤去に補助金が出ることになった。その内容と実績について</p> <p>(2) 高梁市景観条例に基づき紺屋川沿いのビルが撤去されたが、その建物以外に適用する建物はあるのか</p> <p>(3) 街並みを守るため、また空き家対策として、適用範囲を広げたらどうか</p> <p>2 水道料金の引き上げについて</p> <p>(1) 今年度水道経営審議会に諮問されている上水道と簡易水道の統合と料金改定についての経過と今後の予定について</p> <p>(2) 平成19年に10年以内に水道の統合を行うとしているが、国とどのような約束をしたのか</p> <p>(3) そのとき高梁市が立てた統合計画はどのようなものであったか</p> <p>(4) その計画は議会及び市民に説明されたのか</p> <p>(5) 現在でも他市との比較で市民負担が多いのに、これを1.7倍にも引き上げられる計画となっている。市民の声や水道経営審議会での委員の声をどのように受けとめ反映させるのか</p> <p>(6) 将来的には現在の上水道料金に料金を引き下げること。また、一人暮らしのお年寄りや学生など水を多く使わない方たちのために、基本水量を10トンから5トン程度に引き下げ、負担を減らすことを望む</p> <p>3 新図書館について</p> <p>(1) 高梁中央図書館建設基本計画の現在の進捗状況は</p> <p>(2) 指定管理による経費低減の内容と経済効果について</p> <p>(3) CCCへの業務要求水準書の内容とそれに対するCCCの提案書について</p> <p>(4) CCC指定管理予定の新図書館と教育委員会が持つセンター機能の役割との整合性について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 1	1 4	3 番 石 部 誠	(5) 高梁市の特色を生かした図書館にならないか (6) 合併にふさわしい中央図書館として直営で行うべきではないか
1 2	1 1	19 番 難 波 英 夫	<p>1 市民の食の安全と基幹産業である農業を守ることについて</p> <p>(1) TPP（環太平洋パートナーシップ協定）交渉は大筋合意と発表されたが、市民の食と農業にどのような影響があるのか。市の見解を求める</p> <p>① 重要5品目の3割は完全に関税撤廃。コメはまず初めは5万6,000トン無関税で別枠輸入する。これは公約違反、国会決議違反ではないか</p> <p>② コメの価格は現行でも生産原価を割っている。この主要因であるコメの過剰は解消されないのではないか</p> <p>③ 畜産経営難も深刻化するのではないか</p> <p>④ 果物、野菜の関税撤廃は価格の下落を招く。本市の特産であるブドウ、トマトも例外ではないのではないか</p> <p>⑤ 食の安全についても食品添加物の認可数をふやしたり、遺伝子組みかえの表示をなくしたり、残留農薬の濃度の高い農産物を輸入するなど危険性が高くなるのではないか</p> <p>⑥ 市長は国に対してTPP大筋合意の批准をやめるよう強く求めること</p> <p>(2) 多様な担い手を援助する農業政策で本市農業を守らることを求める</p> <p>① 地域に定着して頑張る専業農家、兼業農家、集落営農などを基本とする多様な担い手の援助を強めること</p> <p>② 地域農業の成り立つ条件整備を推進すること。また、農産物の販路拡大や加工などに農協や生産組織が取り組めるよう支援をすること</p> <p>③ 農業機械や資材の購入助成充実、共同利用への援助拡充など農家所得をふやす対策をすること</p> <p>④ 農協などと共同して農産物の生産費と所得を補償する制度の創設を求める</p> <p>2 有害鳥獣農作物被害防止対策の拡充について</p> <p>(1) 防護柵設置補助金対象の延長を緩和すること</p> <p>(2) 購入資材費補助金単価の引き上げを求める</p> <p>(3) 追い払い用花火の使用許可免許取得経費と花火購入費へ補助金交付をすること</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 2	1 1	19 番 難 波 英 夫	3 消防施設について (1) 市内各所に設置されている消火栓設備のホース更新に必要な経費は市費とするよう求める
1 3	3	16 番 宮 田 公 人	1 Uターンを促すための「ふるさと回帰奨学金」制度の創設について (1) 高梁市では高梁市奨学金貸付条例、高梁市看護師養成奨学金貸付条例、高梁市医学生奨学金貸付条例など、経済的理由により就学困難な者、あるいは将来の医療従事者招聘のための奨学金制度を創設している。奨学金の額は、高等学校生徒月額 18,000 円、大学等に在学する学生、看護師養成所在学生月額 44,000 円、医学生月額 20 万円以内とさまざまだが、それぞれの奨学金の積算根拠を示すこと (2) 将来のUターンを促すため、高梁市以外の学校に就学する大学生や専門学校生に対して、月額 10 万円程度の奨学金を創設し、Uターンの有無、卒業から高梁市に帰住するまでの期間と返済額をリンクさせた「ふるさと回帰奨学金」制度の創設はできないか。現在の奨学金制度の拡充も含め、実現可能性について示すこと 2 高梁市立図書館指定管理者業務要求水準書とCCCから提出されている高梁市新図書館提案書について (1) カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社については、海老名市立図書館でのTRCとの関係解消問題、愛知県小牧市との契約解消など、全国各地で問題が取り沙汰されている。こうした全国的な動きを踏まえ、本市の状況把握と今後の対応方針について示すこと (2) CCCとの基本合意締結に当たっては公募の手続が一切行われていない。これにより、事実上指定管理料や業務委託にかかわる費用負担など莫大な金額が、競争原理を経ることなく随意契約化されていくこととなる。地方自治法、あるいは高梁市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例に照らし合わせ、その判断根拠について示すこと (3) 高梁市立図書館指定管理業者業務要求水準書に対してCCCから高梁市新図書館提案書が提出されているが、この提案書の全文が公開されていない。全文を示すこと。また内容の妥当性について、どのような機関で精査がなされたのかその内容について示すこと

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
13	3	16番 宮 田 公 人	<p>(4) CCCとの関係については、議会報告会においても市民から議会において特別委員会を設けることとの提案があった。こうした経緯を踏まえ、新たに審議会を設置し、専門的な意見も踏まえながら、執行部、議会、市民、三つどもえで議論することが必要ではないか</p> <p>3 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の場外馬券場転用のための売却取りやめについて</p> <p>(1) 議会設置の「ゆ・ら・ら」検討協議会からの提言は①民間企業等への売却、②スポーツ関連施設としての活用、③温浴施設として継続の3点だった。今後の活用策を考える上で、この提言について消去法で望むのか、ゼロベースで考えていくのか、基本的方針を示すこと</p> <p>(2) 9月議会において、今後の議論の進め方については、まず「ゆ・ら・ら」に隣接するグリーンヒル順正（吉備国際大学）、神原荘（観光協会）、ハイランド公園（岡山県）、神原スポーツ公園（高梁市）と地元組織が同じテーブルに着いて、神原スポーツ公園エリアの特性を考えながら知恵を出し合うことが必要であると提言した。3カ月経過した現時点での執行部の方針を示すこと</p>
14	8	17番 大 月 健 一	<p>1 川上景年記念館について</p> <p>(1) 平成15年度に大道書学院創設者、川上景年先生が99年の生涯を終えられた。先生のふるさとに景年記念館を設立し、地域と大道書学院の交流が平成9年から続いているが、いまだ多くの人に知られていない。全国にPRしたらと思うが考えを問う</p> <p>2 観光施設について</p> <p>(1) 合併して10年が過ぎた。伸びる観光地、潰れる観光地もある。今高梁市では天空の城、雲海に浮かぶ備中松山城が宣伝されているが、展望台がお粗末である。多くの写真家、また一般の観光客の駐車場が足りない。道路の左右に無造作にとめている。何とかならないか</p> <p>(2) 天空の城に登るのにきつい登り坂があり、整備はされているが高齢者にはきついと思う。誰でも軽快に登れる日本一高い山城にしてはと思う。ロープウェーを整備して多くの観光客に来てもらうことはいかがか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
14	8	17番 大 月 健 一	<p>3 猟友会について</p> <p>(1) 市で貸し出しおりなどをつくり、今までと違う仕組みを行ってはどうか。</p> <p>(2) 猟友会、市が知恵を出し合うべきである。地域によってバラバラな組織づくりでは駄目だ。これからの高梁市のために本気で施策を考えてほしいと思うがいかがか</p> <p>4 こども園、保育園、幼稚園での看護師採用について</p> <p>(1) 子供たちを預けて、仕事を頑張っている母親が多く見受けられる。仕事中は子供の体調が悪くても、なかなか子供の所に行けない事情がある。そのようなときに親が帰らなくても、看護師をお願いして病院に連れて行ってもらうような保育園、幼稚園が他の自治体にはある。市としての考えを問う</p>